

2 国解決策

今日の預言アップデートでは、先週起こったことをまとめてお話ししたいと思いますので、どうかお付き合いいただければと思います。聖書預言の観点から見て、実に忙しい1週間でした。時間の関係から、中でも前面に突出していた1つのことについて、お話ししたいと思います。つまりエルサレムに関する事です。これが今までになかったほどに、全世界にとって、よろめかす杯であったと思いますし、これからもこれは続くと思います。まさに約 2500 年前、預言者ザカリヤ書 12 章で、“そうなる”と伝えられていたその通りです。1 節から 3 節まで読んでみましょう。違いをよく見て頂きたいので、いつもとは違う訳のものをお読みします。

宣告。イスラエルについての主のことは。天を張り、地の基を定め、人の霊をその中に造られた方、主の御告げ。

*「見よ。私はエルサレムを、その回りのすべての国々をよろめかす杯とする。ユダについてもそうなる。エルサレムの包囲される時に。その日わたしはエルサレムを、全ての国々の民にとって重い（動かすことの出来ない）石とする。「あなた方が動かそうとしている境界石は動かせない。」それでもあなた方は試みるだろうが。全てそれがかつぐ者は、アメリカ合衆国も含めて、と言っておきます。全てそれがかつぐ者は、ひどく傷を受ける。」（ゼカリヤ書 12：1-3a）*自らを危険にさらすのです。まさに、この預言が成就しつつあるのだと私は思っています。すなわち、ユダヤ人と自称パレスチナ人が、平和に安全に隣り合って暮らすという「2 国解決策」の元の、エルサレム分断です。これもまた別の預言ですが、それはまたの機会にお話しますが、*テサロニケ人への手紙 第一 5：3*で、使徒パウロがまさにこの2つの言葉を使っています。人々が、「平和だ。安全だ。」と言っているそのような時に、突如として滅びが（これについても、後ほどお話ししますが）彼らに襲いかかります。突如の滅びとは何でしょうか。ものすごく基本的なことですが、これは滅びが突如襲う、ということです。分かりますか？突如の滅び、滅びが突如襲う。ちょうど妊婦に産みの苦しみが臨むようなもので...産みの苦しみが突如襲います。そのように起こります。同様に彼らが、「平和だ。安全だ。」と言っている、そのような時にそれは起こるのです。そしてそれが起こりつつあるのを、現在我々は目にしています。

さて本題に入る前に、お伝えしておきたいことがあるのですが、私はこれを度々伝えておく必要がある、と感じています。つまりこの 2 国解決策が、悪であるというだけでなく...事実これは悪ですが、さらに重要なのは、これが悪である理由です。今日はその理由を見ていきたいと思います。その理由とは、「2 国解決策」は、「ヒトラーの最終的解決」の再梱包である、と私は信じています。つまりユダヤ人の根絶です。「何が言いたいんだ？」「2 国解決策が、イスラエルを滅ぼす、というのか？」全くその通りです。ちなみに私の言葉を鵜呑みにしないでくださいよ。ヤーセル・アラファトは、アメリカ合衆国に居たときには、「自分たちは、イスラエルとの平和を求め。」と言いましたが、彼らはイスラエルとの平和なんて求めていませんよ。彼は、イスラエルのラマラに戻ると、アラブ語で言ったのです。「われわれにとっての平和とは、イスラエルの破滅だ。」ところでこれがイスラムのやり方ですよ！どういうことかという、ムハンマド、サルディン、その後も自分たちの敵と平和を作り、それから相手を滅ぼしたのです。彼らは敵と和平を結び、一旦その” 平和 “ができる”と敵を滅ぼす。それがイスラムであり、それが所謂

「2国解決策」の核心ですよ。嘘の只中にある真実はこれです。自称パレスチナ人...これもまた別の機会にお話ししますが、パレスチナ人なんてものはありません。自分はパレスチナ人だ、と言われて育ったアラブ人である私が言うのです。パレスチナ人なんてものはありません。これは作り上げられたものです。これは偽りの父から来ている嘘です。アラファト自身パレスチナ人ではありません。彼はエジプト人ですよ。私の父がエジプト人だったのと同じです。自称パレスチナ人達は、イスラエルとの平和なんて求めている。逆に彼らは、イスラエルの破滅だけを求めているのです。ダニエル書8:25を見てください。私はいつもこれに感動します。これは、反キリストが破滅をもたらすために、いかにして「和平政策」を利用するか、その預言です。聞いてください。「彼は悪巧み（政策※KJV）によって、欺きをその手で成功させ、心は高ぶり、不意に（平和によって※KJV）多くの人を滅ぼし、平和、滅ぼす、平和、滅び 君の君（イエス・キリスト）に向かって立ち上がる。しかし、人手によらずに彼は碎かれる。」（ダニエル書8:25）

さて私がこれをお伝えした理由ですが、それは次のことを言うためです。この理由から、どんな圧力であれ、それが誰のものであれ、この方向に仕向けるものに対しては、私はこの姿勢です。それが牧師仲間であろうと、アメリカ大統領であっても、です。ちなみにだから私は、トランプ大統領に対しても、このような姿勢なのです。といっても私はトランプと、彼の親イスラエル、親クリスチアンの政策には拍手を送りますし、神に感謝していることはどうかご理解ください。また最終的にはそれが成功しないことも私達にはわかっています。別の言い方をすれば、私は警戒しているのです。ものすごく警戒しています。非常に警戒しています。こと彼のように、果てしなく親イスラエル派の大統領には、非常に警戒しています。なぜかというと、「究極の協議」を彼が追求しているからです。これは彼の言葉の引用ですよ。これを危惧しています。イスラエルに意外なことをさせることの大統領がいるとすれば、トランプでしょう。考えてみてください。これは事実でしょう？事実は、ある時点で、誰かが、それがトランプであれ、またはほかの誰かであったとしても、最終的にはイスラエルを説得し、これまでのあくなき探究であった「究極の協議」に、最終的には同意させるのです。ある時点で、イスラエルは不本意ながらそれに従うのです。彼らはそれに降参します。そして非常に興味深いことに、イスラエルが不本意ながら賛成することは、既に交渉の場に置かれています。こちらのTimes of Israelの木曜の記事が、その証拠です。ヨルダンのアブダッラー王が発言したのは、「国連は、エルサレムがイスラエルの首都であると認識する代わりに、和平協議の交渉を再開するよう、イスラエルに大きく譲歩させようとしている。」つまり和平合意が、また交渉の場上がったということで、大統領による、エルサレムがイスラエルの永遠の首都であるとの認識に続いて、今やエルサレムまでもが交渉の対象になっているという報道も、多数出ています。さらに先週は、副大統領までもが、あそこで、「来年末までには、大使館がエルサレムに行く」と言いました。これは光速ですよ。ものすごい速さです。もちろん全世界の国々の怒りを買いました。「ネタニヤフ首相が、本当に“2国解決策”を信じていると思うか？」と聞かれた時、アブダッラーはこう答えました。私がこれに関してのものすごく懐疑的な理由は、2国解決策が悪だからです。その理由はつい先ほど説明しましたね。だから大統領であれ、誰であっても関係ありません。副大統領も含めて、これについて語る人、それが誰であれ、2国解決策を「イスラエルにとって益となる」という意味合いで勧めるならそれまでです。申し訳ないですが、すみませんが、いけません。それは違います。なぜなら彼らは、平和を求めていますから。彼らは、イスラエルの破滅を求めているのです。この向かう先は、そこ。これが行き着くのは、そこ。これが聖書の中で、私たちに伝えられていることです。

ところで！彼らは今までにそれを得ることはできたのですよ。彼らはそれを何度も差し出されているのです。最近では、当時のイスラエル首相エフード・バラックが、当時の大統領クリントンに招待された時です。アラファトは、バラックと一緒にキャンプデービットにいて、バラックは、アラファトに全てを与えたのです。しかし彼は断った。エルサレムも、首都も、差し出されたのです。「何が欲しいんだ？」「サイドに、ベーコン？マラサダ？何が欲しいんだ？」すみません。それは本当ではありませんが(笑)しかし彼は断ったのです。どういうことですか？

という事で、ネタニヤフが“2国解決策”を本当に信じていると思うか？という質問への、アブダッラーの答えはこちら。引用します。彼は懐疑的な態度で言いました。「アメリカ大統領ドナルド・トランプが、彼の和平策を提示するまで、判断は取っておくよ。」ここで疑問は、なぜ和平策が再び審議されなければならないのか？それからそれを推し進めるために、大統領は何をしているか？これについて間違っ
てはいけませんよ？彼はこれが全てですよ。彼はこれを推し進めていて、彼はこれを達成するために、飽くなき追求をしていますから。金曜日の Breaking Israel News が、スイスのダボスで行われた世界経済のフォーラムでの、トランプのメディアに対する発言を引用して、一つの答えを提示しています。これがある意味、皮肉といいますが、これも聖化された皮肉というか、私はこういう皮肉が大好きですが。彼らが地球温暖化について語っているところへ、超寒波と吹雪が連続して襲ったのです。神は、笑いのセンスがありますよね。疑うなら鏡を見てください。私はこれを毎日しているのですよ。「ハハハ。。。神様。あなたは面白い。」(笑)

という事で、引用されている彼の発言は、「パレスチナ高官が、和平を結ぶ気がある姿勢を見せない限り、アメリカはもうこれ以上は関わらない。」中にはこれを聞いて、「和平はない！受け入れろ！これでどうだ！」とトランプが言っているのだと憶測する人もいるでしょう。しかしここで起こっているのは、それとは違います。和平が交渉の場から取り除かれた、と考えている人のために、Jerusalem Post は、それに加えて次のことを報道しています。「マイク・ペンスが先週、イスラエルを訪問した時に、パレスチナが彼を鼻であしらったことに対して、トランプは怒りを隠さなかった。」これについては皆さんご存知ですか？彼はこう言いました。よく聞いてください。「彼らが交渉に戻るまで、アメリカは、彼らへの支援金を保留する。パレスチナ人は、我々の副大統領に会おうとせず、我々を侮辱したのだ。我々は彼らに、何億ドルという資金を…」ところでこれは私たちの税金ですよ。ありがとうございます！「...支援金として渡しているのだ。そのお金は、パレスチナ人が交渉の座につき、和平交渉に応じない限り彼らには渡さない。」こんな言い方をして申し訳ないが、“金がものを言う”とは本当だと思いませんか？「お金を与えない」と脅す事で、だれでも、どんなことでも、いつでも、交渉の場に持っていく事が出来る。これは実に聡明なやり方です。しかし私たちはこれに驚きますか？彼は究極の取引人ですよ。交渉の術。彼は交渉しているのです。それもかなりうまくやっている、と言っておきます。しかしながらこれに続く終わりは良くありません。

という事でトランプのことについてお話しましたが、私たちの副大統領を侮辱した人間を指摘した事については、彼を尊敬すべきです。興味深いのは、これがムスリムだけではなかった点で、副大統領がクネセトで演説したとき、もう少しで暴動が起こるところで、彼らをクネセトの外に出さなければならなかったのです。私は、副大統領に同情しましたよ。公共の場で演説するとき、牧師や神の御言葉を教える人などは特にそうでしょうが、話の最中に人々が立ち上がったたり、こちらに向かって怒鳴ったり、野次を飛ばされたり、退場したりされると、個人的に受け止めてしまいますよね。説教の最中に、居眠り

をされるのは良いのです。私もわかりますから。時々私も自分でしんどくなってきましたから。私も眠たくなるときがありますから。といっても、私は自分で説教しているから居眠りは出来ませんが。それでもこういうのは傷つくものです。下を向いて目をつむっていますから、外に出たい人は今、外に出てください(笑)

副大統領に敵対しているのはムスリムだけでなく、中東でクリスチャンと自称している人たちもです。Y net News が、パレスチナ人クリスチャン達が、ペンスの“親イスラエル信仰”を、酷評している様子を伝えています。それによると、「聖書預言の成就だとして、現代イスラエル人の熱心な支持を得ているアメリカ副大統領マイク・ペンスの福音派クリスチャン“ブランド”は、信仰と、憐れみと、正義に欠ける。」これは面白いと思いませんか？何度も同じことを言って申し訳ないですが、この話題についてもまた別の機会にお話しします。というのも、これこそが置き換え神学の狡猾さですから。厚かましくも冒濫的に、教会がイスラエルに置き換わって、神の選びの民となった、と教えているのです。だから教会が、大患難を経験しなければならないのも無理はありませんね。大患難の目的は、神によるユダヤ人国家の救いですから。ですからもし教会が、イスラエルに置き換わるなら、教会は大患難の最中にも置かなければなりません。わかりますか？Y net News は、続けて伝えています。「自分は、第一にクリスチャンであり、保守派、そして共和党員である、と告げる副大統領は、その揺るぎないイスラエル支援は、彼の信仰が基になっていると見ている。彼を支援している、所謂クリスチャン-シオン主義者達は、イスラエル国家の建国は、神がその約束を守られたことの証拠であり、キリスト再臨への一歩であると信じている。」私の読み方が悪いのかもしれませんが、このトーンが嫌ですね。月曜日ペンス氏は言いました。「エルサレムがイスラエルの首都であると認識することは、正義と永遠の平和の唯一の真の基盤である。」言わせてもらえば、平和の君イエス・キリストが来て、千年王国と、その先の永遠、新しい天と新しい地を統治支配されるまでは、中東に平和はありませんよ。詩篇の著者は、エルサレムの平和のために祈れ、と言いましたが、それは新しいエルサレムのことですよ。平和の君、真の平和がついにやって来るように祈れ、と。さらに彼は、こうも言いました。出ました！「2国解決策を支持する。」私はペンス副大統領が大好きです。ただ私はこれが嫌いです。私がなぜこれが嫌いなのか、その理由はお伝えしましたね。「アメリカの中東政策、2国解決策に、トランプ大統領は賛成している。」...私はこれが嫌いです。私はトランプが好きですよ。私はトランプに投票しましたから。実際に...皆さんにこれはお伝えしなければなりません。...伝えないといけない、と言ったから伝えなければなりません。クリスマスの時、私の妹がここに来ていたのです。4年ぶりに会いました。私より1歳半下で、私にとって唯一の兄弟です。妹は、ハリウッドのパラマウント映画スタジオの人材部門で働いていて...妹のためにお祈りください(笑)。それが妹の話を聞いて、私でも引いてしまったぐらいで、妹はクリスチャンでトランプに投票したのですが、彼女はパラマウントの中の誰にも、自分がトランプに投票したことは言えないらしいです。役者の全員、役人の全員、パラマウントでは全員が文字通り泣いているんだ、と言っていました。トランプの当選後、彼らは実際にパラマウント映画スタジオを1日半閉鎖したそうですよ。部屋にこもって、互いに慰めあったんだとか。そこへ妹はこんな風だったようで = (トランプ当選に大喜びしたいのをグッと噛み殺したジェスチャー) 仕事は必要だから...と。話がそれました。預言アップデートに戻りましょう。だいぶ進みましたが。ともかく基本的には、「トランプは2国解決策には賛成。もし両者が同意するなら。」ということです。トランプ政権と彼らのイスラエル支持に、イスラエルが有頂天になっているのはそれもそうでしょうが、水曜日の Jews News で、イスラエルの文部科学大臣の発言

を引用しています。「ドナルド・トランプが大統領になったことは、イスラエルにとって奇跡だ！」これは私にもわかります。私もトランプ当選は、ある人たちが言うようにそうだと思います。ある人たちは、まだ分からないと言うでしょうが。私はあれが奇跡だったと思います。多くの人の不意について、超自然的な何かが動いたと私は思っています。これは感謝なことですよ。さらに彼は、アメリカ副大統領マイク・ペンスによる、月曜日のクネセトでの演説についても語っています。演説の中で高まる...出ました..."2国解決策"の考え方と、それからトランプ政権のイスラエルへの待遇を、オバマ政権のそれとを比較して彼は言いました。「副大統領の演説は、かつてクネセトで行われたゲスト演説の中で、最も素晴らしいシオン主義者の演説だった。」どうやら「トランプ大統領は、イスラエルにとって奇跡ただだけでなく、福音派にとっては、世の終わりの始まりとなったようだ。」少なくとも、News Week によれば、そのようです。先週ある人からこの記事が届いたのですが、取り急ぎ興味深い部分を引用したいと思います。「福音派クリスチャンは、圧倒的にトランプ大統領を支持している。彼が世を終わるきっかけになる、と彼らは信じているからだ。」皆さん、ついてきていますか？皆さんこれに関しては大丈夫ですか？どうなんでしょう？彼が聖書預言を加速させるとは私も思っていました、ヒラリー・クリントンがかったら、どうだったか？ !!!□○△××××!!!（言葉に出来ないジェスチャー(笑)）ともかく、ともかく、宗教歴史家の Neil J. Young が News Week に伝えました。「クリスチャン達は、世の終わりをもたすためには、イスラエルでの出来事が基本であると信じている。この時点では、エルサレムがイスラエルの首都であると認識したトランプの決断が、唯一、福音派の支持者たちが、キリスト再臨の聖書預言が成就されようとしていることを、指摘できる出来事だ。」これが唯一である、という部分は違うと言いたいですね。他にも指摘できることはたくさんありますから。ところでこれは News Week です。皆さん、念頭に置いてくださいよ。これから私が読むのは、クリスチャンでバッシングをしている出版社、News Week に誰かが言ったことの引用ですよ。「一方、終末論を信じる福音派には、キリスト教へ改宗したユダヤ人も含まれ、...」これは事実です。「筋書きは、キリストが地上に来て、生きている彼を信じるクリスチャン達を天に連れて行き、真のクリスチャン達だった者達を蘇らせる、“携拳”と呼ばれる出来事で始まる。その後...」!!!（なんとびっくり）彼は、患難前携拳を信じてる!!!そして News Week で引用しているのです！私の読んでいるのがアレだったらどんなに良いか。でもそうじゃない。牧師達は...ともかく、「その後...携拳の後、7年の大患難の間、反キリストが地上で統治すると信じられている。この期間に、ユダヤ人の多くが、...」実際には中間地点の3年半ですが「...反キリストを、偽神であると認識し、イエスに立ち返る。7年の終わりに、キリストが御使の軍勢と共に戻ってきて、反キリストを打ち負かすのだ。と Young 氏は News Week に語った。」わお!!!これはまさにその通りですよ。この通りの事が起こります。面白くないですか？このトランプが世の終わりをもたす、とか、聖書預言の成就を加速させる、とか、イスラエルにとっての奇跡だ、といった理解はこれから読む、ものすごく励まされる、こちらの記事の内容に繋がるかも知れません。最後にこの Christian Journal の記事をご紹介します。記事は、最近の調査結果についてです。「革新的でリベラルなアメリカの教会は、縮小しつつあり、...」驚きませんね。「原理主義の無宗派クリスチャンが、アメリカで増えている。」主よ。ありがとうございます。ハレルヤ！拍手~ハレルヤ~ハレルヤ~そうだと思っていたんです！私は知っていましたよ！皆さんは、教会が減少していると、ずっと聞かされていたでしょうが、私から見れば、ある種の教会は減少していても、私が牧らせていただいているこの教会では、神は全く逆の事をされていますから。世界中で、何千、何万という人々が、この預言アップデートを観ているのです。中に

はコメントやメールで、自分がどのようにしてイエス・キリストの救いに至ったのかを伝えてくれています。しかもその中の多くの方が、どんどん成長しているのです。多くの人から質問が届きます。そして私たちは答えを知っているのです。全ての人に用意されている祝福された希望です。この記事からいくつか抜粋して読んでみます。皆さんの忍耐に感謝します。もうすぐ終わりますから。あと1時間くらいです(笑)冗談ですよ。帰らないでください。あと少しで終わります。これ聞いてください。素晴らしいですよ。泣きそうです。「クリスチャン達は、薄められた教えに辟易している。その代わりに、最近の調査によれば、アメリカのクリスチャン達は、神の御言葉に立つ教会に駆け込んでいる。」ハレルヤ！ハレルヤ！！私は知っていましたよ。知っていました！私は最近本当に嫌になっていたのです。言うて良いですか？そしたらこの統計ですよ！アメリカで、ですよ！彼らはこういった教会を抜け出しているのです。ホモセクシャルの牧師や、レズビアン系の女牧師がいる教会を！神は彼らのことを愛しておられますよ。しかしそれは、聖書には適っていないのです。怒鳴ってしまってすみません。興奮してしまいました。ものすごく励まされましたから。「主だった教会は、これまで以上に教会員を失っているようで、キリスト教が減少している、という調査結果の元々の解釈にも説明がつく。しかしながら、人々が教会を離れているからといって、彼らが信仰から離れているということにはならない、と調査結果は示している。」実際彼らは教会を去り、それによって信仰に至っている、と言っておきます。拍手～拍手～ハレルヤ！神よ。感謝します。神よ。ありがとうございます！

では締めに入りたいと思います。それでも時計は見ないで下さいよ。少しだけ時間オーバーしてしまいましたから。はい。少しだけよりも、もうちょっとオーバーしています(笑)今から、イエス・キリストに信頼を置く、信仰に留まる、というのがどういうことなのかをご説明したいと思います。それを皆さんが今座っておられる椅子を使って行きます。良いですか？私たちの罪の赦しについて、永遠の地獄からの救いについて、イエス・キリストを信頼する、とは。「今、永遠の地獄といいましたか？」「地獄は永遠なの？」そうでなければなりません。もし地獄が永遠でなければ、天国も永遠ではありません。聖書はそう教えています。聖書はそう告げています。ということで、このように描いてみてください。皆さんが、その椅子が、皆さんが床に転げないようにしてくれる、と信頼しているように、キリストがあなたを救い、天に行けるようにしてくれるのだ、と信頼していますか？皆さんはその椅子を信頼しましたね？座る時に一瞬でも考えましたか？多分皆さんが考えたことといえば、「私の席が空いていて良かった！」でしょ？そして後でそのことを悔い改めますね？しかしその椅子が、あなたを支えてくれないかもしれない、とは一瞬たりとも考えないでしょう。その椅子がさせてくれる、と信頼していますね。それと同様に、そのときが来れば、イエス・キリストがあなたを天に上げてくださる、と信じていますか？それが福音、イエス・キリストによる救いの良い知らせです。いつものように、預言アップデートの終わりを、救いのABCで終わりたいと思いますので、あと2分だけお付き合いください。子供にでも分かる簡単さです。“子供じみた”ではなく、子供にでも分かる、ABCのように簡単です。

Aは、自分が罪人であると Admit/認める。もしくは、自分が罪を犯したため、救い主が必要であることを、Acknowledge/認識する。ところで、これが悔い改めですよ。悔い改めとは、信仰に対する考え方を180度変える事です。180度です。聖なる神の目に映る、あなたの罪深さについて、考え方を180度変えるのです。それが悔い改めです。あなたが変わるのです。自分が罪を犯したことを、Acknowledge/認識し、自分が罪人であることを Admit/認めるのです。ローマ人への手紙3：10にはこうあります。

「義人はいない。ひとりもない。」(ローマ人への手紙 3:10) ローマ人への手紙 3:23 にはこうあります。「すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることが出来ず、」(ローマ人への手紙 3:23) ローマ人への手紙 6:23 にはこうあります。「罪から来る報酬は死です。しかし、神の下さる賜物は、私たちの主イエス・キリストにある永遠の命です。」(ローマ人への手紙 6:23) これがA、次にBです。

Bは、イエス・キリストが主である、神が彼を死から蘇らせたと心で Believe/信じる。これは(ローマ人への手紙 10:9-10)です。...あなたの心で、神はイエスを死者の中から蘇らせて下さったと信じるなら、あなたは救われるからです。...(ローマ人への手紙 10:9-10) ということ、あなたは、自分の罪と、自分には救い主が必要である事を認め、心で信じました。最後はC、口で Confess/告白し、主の御名を、Call/呼び求めるのです。これもまた、ローマ人への手紙 10:9-10 で、そこにはこうも書かれています。なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で、神はイエスを死者の中から蘇らせて下さったと信じるなら、あなたは救われるからです。人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。(ローマ人への手紙 10:9-10) 最後にこれで契約成立です。ローマ人への手紙 10:13 です。主の御名を呼び求めるものは、だれでも救われるのです。(ローマ人への手紙 10:13)

あなたがこれまでに、一度も自分の罪を認め、心で信じて、口で告白し、主の御名を呼び求めた事がなければ、どうかお願いします。今日それをしてください。ご起立ください。祈りましょう。

天のお父様。まず第一に、あなたの民の忍耐に感謝します。それから次に主よ。聖書預言に感謝します。ことが起こる前に、何が起こるのかを教えてください感謝します。そのため、それが起こり始めた時、私たちは信じます。そして信者達は、体をまっすぐにして、頭を上にあげます。私たちの贖いが近づいていますから。主よ。確かに私たちは、全てのことが起こり始めるのを見ています。私たちに告げられていた通りのことが、まさに私たちの目の前で、現在世界中で起こっています。そして、あなたの預言時計の中では、次に起こるのは、教会の携拳です。携拳の前に起こるべきことは、何一つありません。しかもそれは、夜の盗人のように起こります。私たちの思いがけない時にそれは起こります。私たちの誰も、その日、その時を知りません。今日起こることもあり得ます。もしかしたら主よ。あなたは、私が牧らせていただいている、この素晴らしい教会に、今日、誰かを送られたかも知れません。今日が、彼らの救いの日だからです。それは、もしかしたら世界のどこかで、今これをインターネットで見ている人かも知れません。あなたが彼らをこの動画に導かれました。ただの偶然ではなく、神が導かれたのです。あなたが導かれました。このような時に、彼らは真実を聞くかも知れません。そしてあなたが真実でられます。イエス様、あなたが道であり、真理であり、いのちです。あなたを通してでなければ、誰も御父様の元に行けません。主よ。あなたの御名をこれまで一度も呼び求めた事のない人が、今日、あなたの御名を呼び求めて、救われますように。イエス様の御名によって。アーメン。



このメッセージはカルバリーチャペル カネオへの JD ファラグ牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、Calvary Chapel Kaneohe (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」

ヘブル 4 : 7

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリーチャペルカネオへ <http://www.calvarychapelkaneohe.com/>
Calvary Chapel Kaneohe

47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by Fuyuko Chishima